

てしお

第 129 号
平成 22 年 5 月

議会だより



高齢者大学はまなす学園入学式・始業式（4月16日撮影）

目次

○条例の改正、補正予算ほか	2 頁
○22 年度予算の審査	4 頁
○一般質問（4 氏 6 件）	
・石山議員「雄信内プール、スキー場存続」	6 頁
・川端議員「エゾシカ・アライグマ被害」	6 頁
・渡辺議員「TMR に行政はどこまで」	7 頁
・遠藤議員「ボランティアのポイント制」ほか 2 件	8 頁
○委員会報告、議会日誌	10 頁

第2回天塩町議会定例会

3月定例会は、3月9日から19日までの11日間の会期で開かれました。

21年度補正予算などの審議のあと、浅田町長が22年度市政執行方針を述べて休会。17日に再会し4名の一般質問、議案審査に続き22年度各会計予算審査のため特別委員会を設置しました。予算案9件は3日間にわたり慎重に審議したあと、本会議再開後は、委員長の報告のとおり決し閉会しました。

条例 その他

- 地域活性化・公共投資基金
条例

国の補正予算により9千33万4千円が交付をされ22年度に事業を行うため基金を創設。

- 天塩小学校改築基金条例
24年度実施設計、25年度着手に向けて資金造成のために基金を創設。

- 町民栄誉賞条例
天塩町民や本町縁の個人・団体が国内外で優れた活躍をした場合にその栄誉を称えるため条例を制定。

- 認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例

町内会が、地域的な活動のために不動産を保有する際、印鑑登録証明が必要となるため条例を制定。

- 表彰条例の一部改正

町民栄誉賞に準ずると認められた場合に特別表彰を設定。功労表彰から町職員の規定を削除。

- 課設置条例の一部改正

総務課と行政改革課を統合し、総務課に。(6課から5課に)

- 重度心身障害者及びひとり親

家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正
肝機能障害を新たに認定基準として追加。

- 酪農振興基金条例の一部改正

特に緊急な貸付が必要な場合、協議会に諮らず貸付できるよう改正。

- 農村研修施設設置条例の一部改正

産土開拓婦人ホームと更岸生活改善センターの用途廃止により条例から削除。

- 町有財産の無償譲渡

産土開拓婦人ホームを北産土町内会に譲渡。
更岸生活改善センターを更岸中央町内会に譲渡。

- 職員の給与に関する条例の一部改正

部改正

労働基準法の改正により、1か月に60時間を超える時間外勤務手当の支給率を引き上げるもの。

- 職員の勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正

1か月に60時間を超える時間外勤務時間の全部、または一部を代休時間に指定できるよう改正。

- 財産の取得

船舶上架施設の整備に伴い、船台一式、上架ウインチ一台、逆巻きキャプスタン一台、高圧洗浄機一台などの備品を取得。
取得金額 2千33万円
契約の相手方 (有)マリン総合
代表取締役 運上欽也

指定 管理

- 林業研修センター

- 町民保養センター

指定管理者 ㈱天塩観光公社

代表取締役 水口脩次

指定期間 2年間

平成22年4月1日～24年3月31日

一般会計 補正予算

どの地域に設置するのか。
住民課長

市街地と川口に20基。更岸・雄信
内方面に19基です。

【天塩小学校改築基金】

遠藤議員

1億600万円の財源は。

行政改革課長

留萌広域行政組合の返還金7千800
万円と地方交付税増額交付の一部
2千800万円などです。

【交通費助成事業】
遠藤議員
利用頻度が少ない。利用しやすい
ように制度を見直しては。

町長
今後煮詰めていきます。

【ふるさと応援基金】

遠藤議員

どの分野に積立てたのか。

企画商工課長

小学校改築に20万8千円。シジミ

施設整備に10万円。次世代育成に
30万円。町の振興に52万円です。

【天塩保育所外構・駐車帯】

遠藤議員

保育所前の駐車帯は、雨が降ると
プールになる。

町長

改善していくよう検討します。

【天塩町観光協会事業補助金】

川端議員

2千200万円の減額の理由。

企画商工課長

観光牧場の室内馬場を取り止めた
のが大きな要因です。

遠藤議員

何が実施されたのか。

企画商工課長

厩舎、堆肥施設、管理棟などです。

【ハザードマップの作成事業】

遠藤議員

防災システムの周知方法は。

住民課長

町内会単位で説明をしています。

【公共施設へのデジタル整備】

遠藤議員

整備計画はどうなっているのか。

副町長

町有のテレビ110台のうち概ね20%
を削減し、避難所となる福祉会館
と学校は新たに導入します。



「協同労働の協同組合法
(仮称)」の速やかな制定
を求める意見書

「協同労働の協同組合」は、働
くものが出資しあい、全員参加
の経営で、仕事を行う組織であ
り、1万を超える団体がこの法
制度化に賛同しています。国会
では100名を超える超党派の議員
連盟により法制化の検討が始ま
りました。

社会の実情を踏まえ、就労の
創出、地域の再生、少子・高齢
社会に対応する有力な制度とし
て「協同労働の協同組合法」の
速やかな制定を求めます。

平成22年度酪農畜産政策・
価格対策に関する意見書

(2月17日臨時会)

北海道の生乳生産は、全国の
50%程度を占め、畜産は乳用種
等をはじめ一定の飼養頭数を有
しており、食料の安定供給に大
きな役割を担っています。

酪農畜産農家に対する所得確
保対策をはじめ、生産基盤対策
・資金対策等の総合的な政策を
中長期的視点に立った中で、積
極的に実施するよう要請します。

21年度一般会計補正予算(第7号)
は、3億6,120万4千円を追加し、総
額を48億7,229万8千円としました。

歳入	単位：千円
地方揮発油譲与税	△ 13,700
普通交付税	133,658
地域活性化きめ細かな臨時交付金	92,782
地域活性化公共投資臨時交付金	95,134
子ども手当準備事業補助金	3,200
財政調整基金繰入金	△ 20,000
ふるさと応援寄附金	1,127
留萌広域行政組合出資金返還金	78,000
その他収入	△ 8,997
計	361,204

歳出	単位：千円
議会費	△ 736
地域活性化公共投資基金積立金	95,134
天塩小学校改築基金積立金	106,901
社会福祉会館屋上防水改修事業	13,400
特養等スプリンクラー整備事業	80,000
病院事業繰出金	119,483
天塩町観光協会事業補助金	△ 22,000
スポーツセンター屋根塗装事業	5,380
予備費その他	△ 36,358
計	361,204

平成22年度予算審議

3月17日から3日間にわたり審査された質疑内容の一部を紹介します。

予算審査特別委員会

●【庁舎管理経費】

菊地委員

庁舎トイレを改修しては。

町長

可能な限り進めたいと思います。

方を検討しています。

町長

これまで派遣していた2名は引き上げますが、今後も町と円滑に福祉業務を推進するため、新たに1名を派遣します。

遠藤委員

社協には体力があると説明していただはずだ。

町長

他町でも社協に職員を派遣しています。ご理解ください。

●【社会厚生委員】

遠藤委員

次の改選時に公募してはどうか。

副町長

調査研究していきます。

●【高齢者の火災警報器設置】

森委員

昨年に比べて減になった理由は。

福祉課長

大部分が整備できたためです。

●【障害者自立支援対策】

遠藤委員

新規事業だと思うがその内容は。

福祉課長

町村では障害者に対する相談できる専門職がないため、それを支援する負担金などです。

●【自衛隊施設誘致期成会と協力会】

遠藤委員

この2件を1件に整理してはどうか。

町長

私が在任してる間は続けます。

●【姉妹都市交流派遣】

遠藤委員

派遣の概要は。

企画商工課長

8月に町民12名、町の代表、議会代表、職員1名を予定しています。

●【生活交通路線】

遠藤委員

カウで帰る路線があるので見直しをしてはどうか。

町長

再度調べて対応します。

●【図書室の本棚】

遠藤委員

倒壊対策を講じては。

教育次長

地震に備え再度点検します。

●【社会福祉協議会】

遠藤委員

・職員の派遣は早い時期に引き上げるとしてはどうか。
・以前に町から出していた退職手当積立金はどうか処理したのか。

福祉課長

積立金は、社協で適正な処分の仕

●【ヘルパー職員の勤務場所】

遠藤委員

介護ヘルパー職員の勤務場所を保健センターに統一しては。

福祉課長

検討します。

●【雄信内保育所の内装修繕】

遠藤委員

内装修繕だけか。

福祉課長

トイレなどを除く床、壁、天井を新しくする工事です。

遠藤委員

トイレが残るのは残念だ。

●【行政改革推進委員】

遠藤委員

国の仕分け作業を導入しては。

副町長

1年間かけて検討したい。

●【開基130年式典】

遠藤委員

東京天塩会が来町するが、式典に合わせもらってはどうか。

町長

10月の式典に合わせて考えています。

●【自動車管理経費】

遠藤委員

増額になった理由は。

総務課長

主に高校生クラブ活動によるバス利用の拡大です。

町長
今後、子供の人数の推移をみて対応します。

●【霊園の砂利道】

遠藤委員
砂利道の改善計画は。

町長

農村部でも未舗装区域があり、バランスを考えたいと思います。

●【ふるさと雇用再生特別対策】

遠藤委員

どんな事業を行うのか。

企画商工課長

昨年に引き続き、観光客の誘致、観光農園、砂丘活用事業、観光牧場事業を実施します。

遠藤委員

人件費はどう計算したのか。

企画商工課長

通常の固定する人は月額単価で、月額15万円から30万円です。

遠藤委員

突出して賃金が高いと思う。計画を変更し、働く人を多くしては。

町長

許される範囲で一人でも多く雇えるよう努力します。

●【町営草地作業機導入】

中嶋委員

何を買うのか。

経済課長補佐

135馬力のトラクター1台です。菊地委員

古い機械を何台も持つよりも、新しい機械の方が作業効率は上がる。

町長

ぜひ検討したいと思います。

●【民安ダム管理経費】

遠藤委員

水利用率が7割未満のダムとして、今後の対策をどうするのか。

町長

農協と検討している段階です。

●【保養センター】

遠藤委員

平成13年8月にガス爆発が発生している。安全体制への対応は。

企画商工課長

専門機関に委託をし、ガス濃度を測定しています。

川端委員

建物等が老築化し、今後、補修費が増えてくる。いくらまで持ち出しは可能だと考えているのか。

町長

まちづくりでは今や、温泉なくして語れません。少しでも負担額を減らすよう取組んでいきます。

●【公共施設除雪経費】

遠藤委員

今年は雪で1車線道路が多く、救急車の運行に不慣れた状態だった。

経済課長

反省をし、今後も一生懸命対応していきます。

●【町道整備補修事業】

川端委員

山手裏通の凸凹は解消されるのか。建設課長補佐

6丁目から8丁目まで補修します。

●【パークゴルフ場協力金】

石山委員

金額はどのくらい入ってたのか。

教育長

31万円ほどです。

●【プレミアム商品券】

川端委員

21年度は昨年よりも2回多く発行した。今年はどうなのか。

町長

国の動きによって検討します。

●【公共施設の禁煙】

遠藤委員

公共の場での禁煙をどのように進めるのか。

町長

厳しい国の方針に、どう対応していくか検討していきます。

●【諸収入】

遠藤委員

電話料・電気料を、雇用実現事業からもらってはどうか。

企画商工課長補佐

夕映に事務所を構えていますので難しいと考えます。

22年度予算総額

一般会計	41億5,000万円
主な事業	職員住宅維持補修事業
	町有林保育・造林事業
	中央町民会館下水道整備事業
	雄信内へき地保育所内装修繕事業
	保健センター下水道整備事業
	保健センター側溝改修事業
	道路区画線引事業
	防雪柵取付取外事業
	町道整備改修事業
	天塩港湾建設事業
教職員住宅下水道整備事業	
スポーツセンター下水道整備事業	
国民健康保険	4億9,100万円
介護保険(保険勘定)	3億2,700万円
介護保険(サービス)	2,060万円
老人保健	57万円
後期高齢者医療	4,350万円
水道事業	2億187万5千円
下水道事業	1億9,450万円
国保病院事業	7億2,696万8千円
9会計合計	61億5,601万3千円

石山直継 議員

雄信内プール・スキー場 を存続した結果は

町長 経費節減を図りながら 運営できました



石山 直継 議員

町民スキー場の利用者は前年度より大幅に増加し、管理運営もスムーズにできました。特に、本町で初めての取組みとして、スキー連盟の皆さんに全面的な協力をいただき運営をすることができました。これは正に私が目指してきた政治姿勢である「地域と密着した協働のまちづくり」であり、心から感謝いたします。

教育長

雄信内プールの利用者は542人で前年比115人の減です。経費は前年比23万円の減です。

スキー場の利用者は3万1千101人で、前年比1万1千699人の増、使用料は52万4千円で前年比8万5千円の増でした。経費は前年比430万円以上の減額になる見込みです。

緊急雇用創出事業による配置人数は、1日平均3人で延べ176人です。

なお、スキー連盟とはボランティア活動の一環ですので契約書は取り交わしていません。

質問

スキー場運営のため、緊急雇用創出事業は大変良かったと思うが、こ

の事業は22年度以降も続くのか。スキー連盟と契約書は取り交わしていないとのことだが、事故の対応など問題はないのか。

来年の町民スキー大会は、大人も含め1日遊べる大会にしてはどうか。

企画商工課長

緊急雇用創出事業は留萌支庁から22年度の内示はきています。

教育長

ボランティア業務中のケガや賠償など曖昧な部分がありますが、町の総合賠償保険や、連盟が入る民間の傷害保険で対応したいと思います。

町長

小さな子供がたくさん来て遊ぶ姿を見て、また、学校のスキー授業をさせることができ、続けて本当に良



スキー教室の準備をする子どもたち

川端英嗣 議員

エゾシカとアライグマの 被害防止対策の強化を

町長 駆除経費を補正し強 化していきます

かったと思います。1年限りで終わることのないよう、改善しながら進めていくよう努力します。

町民スキー大会に、各学校が一堂に会して臨む形は初めてのことです。今後、教育委員会、学校と協議し考えていきたいと思えます。

質問

アライグマとエゾシカによる一次産業への被害と交通事故が多発している。現時点で鳥獣被害防止特別措置法に基づき、被害防止対策どこまで進んでいるのか。

22年度予算では駆除経費は昨年と同額である。見直しは行ったのか。

雄信内プールはこの1年間、地域の皆さんのボランティアによる協力で、経費節減などを図りながら運営しました。地域の皆さんに心から感謝する次第です。

町長

天塩町は財政健全化を町民と一丸となって取組んでいるが、雄信内プールと町民スキー場は、町民などから施設存続の声が挙がり継続した。両施設の利用率、ボランティアの活動内容、経費等はどうなっているのか。スキー連盟と交わした契約の内容と、雇用促進事業でスキー場に勤務した人員配置について伺いたい。

質問

町長

猟友会天塩支部天塩部会へ委託し、巡回及び罾設置などにより、アライグマは現在52頭、エゾシカは巡回銃器駆除により、現在10頭の駆除実績があり、一定の効果はありました。

被害防止対策は、机上の計画とならないよう関係機関（道猟友会、農協、漁協、森林組合、普及センター、森林管理署、鳥獣保護員等）により、21年6月に「有害鳥獣防止対策協議会」を立ち上げ、計画の知事協議が3月9日に了したところです。

副町長

本計画では、アライグマは猟友会員の捕獲に加え、農業者の箱罾講習の受講により100頭から150頭を捕獲する計画です。

エゾシカは、猟友会員が銃器による捕獲を中心に継続的に実施し、80頭から100頭の捕獲を計画しています。また、町内のデントコーン被害の発生した畑2か所を対象に、「鳥獣被害防止総合交付金」を使い、電気柵を試験的に実施していきます。駆除経費は猟友会への委託料であ



川端 英嗣 議員

一般質問

肉処理も含め多くの情報をまとめることができる限り早いうちに円滑に進めるよう努力したいと思えます。

町長

駆除経費のうちエゾシカに対して年間8万円しかなく、駆除したくてもできないのが現状である。ハンターに数多くシカを捕ってもらうには、肉処理場の設置と助成、廃棄物処理経費への補助が必要である。

質問

り、巡回、駆除、罾設置回収、死体処理等が入っています。防止計画の実施に伴う費用は、各機関との合意を得てから事業費を補正したいと考えています。



知床で行われているエゾシカ捕獲場

渡辺修勝 議員

酪農経営に行政がどこまで関われるの

町長 今後、関係機関と協議していきたい



渡辺 修勝 議員

担い手が将来ともに夢と希望の持てる「酪農郷てしお」づくりの取組みとは何か。

町長

先般の酪農畜産業の現状と未来に関する意見交換会で、農協から小規模であってもTMRを試行したいと発言があり、行政として何ができるか、メリット・デメリットの検討など、関係機関と積極的に進めたいと考えています。

質問

TMR、混合飼料を活用する方式に行政はどう関わっていくのか。

放牧型酪農や堆肥を利用した有機質肥料等の研究、推進はどのような状況になっているのか。

質問

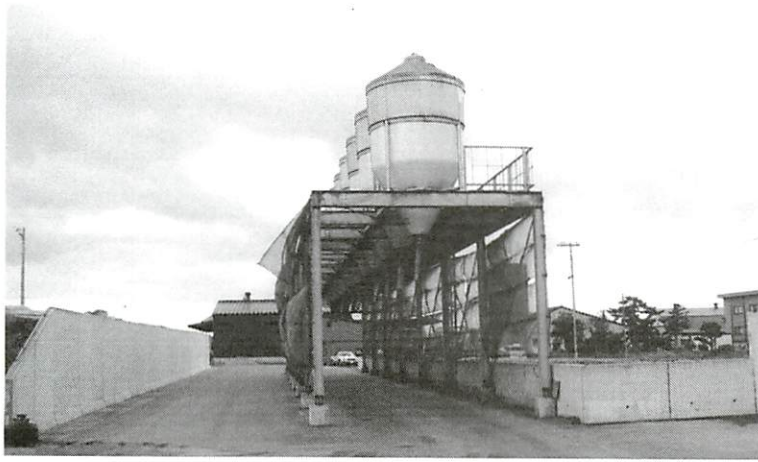
国の補助により機械やバンカーサイロができてきているのに、今度はTMRをやるとなると、農家はついていけず、当然迷いがでてくる。放牧型農郷づくりを考えています。

酪農とTMRを活用する酪農経営とでは全く異なる経営形態を、酪農家はどう理解したらいいのか。

ヘルパー制度を設けているが、現実には冠婚葬祭、事故、病気に出勤し、農家自体が農休日を設けようとする意識が高まっていない。1年中働き通す親の姿を見て育つた子供が担い手として育つと思うか。この際見直しをしてはどうか。

町長

乳価は国際市場に密接に関係して



▶TMRが行われている士別の会社

おり、その中で少しでもよい方向に向かうよう模索していた中で出てきた一つが放牧型酪農です。

TMRは道内で28か所取組んでいますが、労働の軽減になっていないところもある一方で、ある農家では労働的が半減され、乳量は平均6千7千キロが、5年目で約1万キロを超えているという実態です。離農後も、すぐに就農希望がきており、これは非常に魅力です。農地全部を会

遠藤 功 議員

ボランティアのポイント制を導入しては

町長 機会を作って議論していきます

質問

地域貢献をした者が将来高齢者と

社に提供し、牧草の収穫から全部任せしてしまうことで、農家は高い機械を買わなくてもよくなります。もつと冷静に考えれば、天塩型としていいものができるかもしれません。

ヘルパー制度で、月に1、2回全面的に休むには、今の体制では対応できません。今後、農業関係者の声を聞いて検討したいと考えます。



遠藤 功 議員

なり、日常生活のうえでサービスを受けたいときに、過去に行ってきたボランティアがポイントとして貯金されていけば、年金生活者にとって経済的負担の軽減にもつながると考えるので、一早く天塩貯金ともいうべきボランティアのポイント制度を創設し、真の協働によるまちづくりにつなげてはどうか。

町長

常日ごろから、安心して暮らせるまちづくりには、住民・福祉活動の

中核となる町内会や、各種福祉団体・ボランティアの参画が必要不可欠だと考えています。

提案は非常に魅力的であります。本町のボランティア土壌では、多少時間が必要だと感じており、天塩貯金ともいべきボランティアのポイント制度に取組むには少しハードルが高いと思っておりますが、アイディアとして非常に夢がありますので、機会をつくって議論を深めたいと考えています。

質問

決してこれはハードルの高い問題ではない。例えば、丸1日ボランティアをした者に対して、1万円の賃金の評価ではなく、10分の1の評価千円の評価をし貯めておいて、それを老後に使うということである。

イギリスでは若い時に80%の人がボランティアし、その結果は、大学生であれば就職の時に履歴書に載るなど評価されているようだ。イギリスのように浸透するまでは大変だと思うが、留萌管内で一早く、天塩貯金方式を考えるべきだと提案する。

町長

ご意見を参考にしながら、煮詰めていきたいと思えます。

遠藤 功 議員

町として積極的に温暖化対策に取り組む姿勢を

町長 町を挙げて取り組む努力をしていきます

質問 地域温暖化対策として国は、二酸化炭素や温室効果ガス排出量を2020年までに25%削減するとし、各種制度の創設を盛り込んでいます。道も、「一村一炭素おとし事業」として、太陽光発電、節電効果の高いLEDの設置事業などを導入している。天塩町も、温室効果ガス削減対策に積極的に取り組む姿勢が大切であると考えますが、町長の所信はいかがか。

町長 合わせて、町の地球温暖化対策実行計画の状況についても伺いたい。



▲LEDになった中学校の外灯

年5月の公募に向けて準備中と聞いており、町内の民間業者等で協働できるか検討したいと考えています。

副町長 町が取り組む二酸化炭素削減については、街路灯ではLED照明を2丁目通線に9基、中学校に15基、ふれあいセンターに8基、防犯灯39基を設置しています。公用車も、エコカーを3台購入しています。町としては、国や道の具体的な対策の推移を見守りたいと考えています。

町の温暖化対策計画は20年度からの5年間で、公共施設で発生する温室効果ガスの排出量を定め、公表を行い、町内の事業所や町民に対し、温室効果ガスの排出抑制に関する情報を提供していきます。

具体的には、ガソリン等の燃料、紙類使用量と電気使用の削減、公用車の減車、庁舎内温度の適正管理、エコマークなど環境に配慮した製品

の計画的な購入などです。

質問

町の実行計画は、町の施設だけの計画であり、大きく見直しをする必要がある。また、道の発表に合わせ、即対応できる体制をつくるべきだ。

町長 稚内市や室蘭市では、太陽光発電を活用する取り組みが始まっている。天塩町は、地下水熱の利用による地球温暖化対策を考えてはどうか。

この計画は全体の一部であり、総合的に温暖化対策を見直さなければならぬと思います。町を挙げた取り組みになりますので、町民の皆さんにもPRし取組んでいただくよう努力したいと思えます。

地下水熱の利用は非常に有効だと思えます。国の施策に遅れを取らないように努力したいと思えます。

遠藤 功 議員

子育て支援策として医療費無料化を図っては

町長 もう少し先の検討課題としたい

質問 子育て環境の充実を図ることで、少子化対策や若い世代を確保ができると考えられるので、医療費無料化と子宮頸がんを含め、骨髄炎予防接種への助成を考えてはどうか。

町長

特別養護老人ホームに入所を希望する待機者は増加の一途にある。慢性的な長期待機の環境を、今後どのような対策を講じるのか。

子供の医療費無料化は、道内では全額助成するところもありますが、本町は財政健全化を進めていること

から、少し先の検討課題にしたいと思えます。

予防接種はここ数年、細菌性髄膜炎の危険性が問題になっており、この疾病にはヒブワクチンが有効ですが、任意接種であり保護者の費用負担が大きいという問題があります。道内では、費用負担助成の動きが出ており、本町も新たな任意接種の対策を早急に検討し、安心して子育てができる環境づくりを推進したいと考えています。

副町長

本町の施設介護サービスは、特養50床、町立病院の介護療養型病床18床の合計68床で、これを補完するサービスとして、シヨートステイ10床、ケアハウス12室を設置しています。

恵愛荘の入所希望待機者は18名で、実態として既に施設サービスを利用している方、入院治療中の方もいて、緊急を要する件数は多くないと判断しています。

質問

医療費無料化は、全国で約2割にあたる380市町村、うち道内は20市町村で実施されている。インフルエンザ菌B型のワクチン接種は3万円もかかり、公費助成が必要とされている。いつまでに措置を講じるのか。

豊富町では旧学校を利用して、グループホームをやるうとしていて。天塩町も旧学校等の有効な活用を考へ、ホームページ等で全国に向けて

募集をしてはどうか。

町長

医療費無料化は非常に関心を持っています。予防接種含め、全国的に共通する問題は、国、道に要望を強めていきたいと思えます。

入所待機者は、病院では常に何床か空いている状態です。それでも対象者が増えるのであれば、改めて論議を深めたいと考えていますが、天塩町の場合、介護福祉施設が結構充実しており、保険料として住民に負担をしてもらっています。新しいものをつくると更に負担が増え、今の社会情勢では非常に困難ですが、更に検討を進めたいと思えます。

議会日誌

1月

- 25 全員協議会〔全議員〕
- 26 懸案事項協議〔議長〕
- 28 総務文教常任委員会所管事務調査〔全委員〕

2月

- 1 市町村長と議会議長との意見交換会〔羽幌町、議長〕
- 10 議会運営委員会〔全委員〕
- 17 第1回町議会臨時会〔9議員〕
産業厚生常任委員会所管事務調査〔4委員〕
- 21 町民スキー大会〔議長〕
- 22 懸案事項協議〔議長ほか〕
- 23 産業厚生常任委員会所管事務調査〔全委員〕
- 26 懸案事項要請〔～3.1、東京、議長ほか〕

3月

- 1 議会運営委員会〔全委員〕
全員協議会〔全議員〕
- 5 高齢者大学卒業式〔議長〕
- 6 一般国道40号名寄バイパス開通式〔美深町、議長〕
- 9 第2回町議会定例会〔～19、全議員〕
- 14 一般国道40号幌富バイパス開通式〔幌延町、議長〕
- 19 徳田留萌駐屯地司令を囲む会〔留萌市、議長〕
議会運営委員会〔全委員〕
- 22 自衛隊入隊予定者激励会〔稚内市、議長〕
- 26 教育三者合同送別会〔議長〕

4月

- 5 留萌管内町村議会議長会定期総会〔羽幌町、議長〕
- 9 平野留萌駐屯地司令歓迎会〔留萌市、議長〕
- 16 高齢者大学入学式〔議長〕
議会広報特別委員会〔2委員〕
- 19 懸案事項協議〔～20、札幌市、副議長〕

総務文教常任委員会

所
管
事
務
調
査
報
告

調査月日

1月28日

●町内小中学校の現状

各小中学校の校長らから各学校の教育目標をはじめ、課題や教育指導の重点など学校経営の概要の説明があった。

天塩中学校からは、校舎周りのブロック敷きやボイラー室配管の改善が、啓徳小中学校からは、新体育館



▲天塩中学校で説明を受ける委員

の雨漏り対策などの要望があった。委員からは、体力テストの結果、児童生徒の体力の低下とその対策について検討を望む意見があった。